

學術談話會技藝科部會報 第六號

目次

理學博士

歐米女子理化教育に關する視察談

邦畫に及ぼせし洋畫の感化

便所に就て

肉の煮方に就て

二人の女中の一週間の仕事配當

利殖につきて

ストーフノ研究 (其一)

温度及濕度ノ變化

技藝科三年

技藝科四年

龜	澤	竹	星	内	青	廣	小	熊	藤	堀	黑	坂
高	村	島	山	山	間	間	林	野	井	と	田	本
德	專	茂	き	ひ	留	留	ち	み	み	き	き	や
平	太	郎	い	い	女	女	る	や	よ	の	み	す

全 糖類試法(其二) 量
全 炭酸瓦斯ノ一定量

全 (其二)
全 ストーフノ經濟

蔗糖ハ酸ヲ加ヘテ煮ル時ニ
其甘サヲ如何ニ變スヘキカ

米につきて
鯉節につきて

全 西館とお
全 岸高千代
全 加茂つや

技藝科三年
全 丸野キ
全 尾崎キ

技藝科二年
全 堀川いさる
全 下田ノブ

全 伊藤カネ
全 早井コウ
全 林つや

學術談話會技藝科部會報 第六號

目次

學術談話會技藝科部會報 第六號

歐米女子理化教育に關する視察談 (文責在筆者)

理學博士 龜 高德

只今近藤教授から紹介して下さつた通り、歐米女子理化教育に關する視察談を御話しやうと思ひます。なほそれに續いて、一般の女子教育の大略も附加へて見やうと思ひます。まづ私がやはり通つた順序にはなしたいと思ひます。
瑞西のチュリツピの高等工藝學校に一年ほど居りました、其處は後は山で前が湖で、大變に風景のよい町でありました。
此の工藝學校は、我國の大學の工科にあたるものでありまして、其處へは女子の學生も通つて居ります、然し化學の方には甚だ少數で、二三名に過ぎません。そして専門にそれを勉強して、試験を受けてドクトルになる女もありませんが、又中に結婚すればやめてしまふものもあります。なほチュリツピにある大學の醫科の方には、女學生が甚だ多くありますが、主としてロシアの方からきてゐるのが多くて、中には男生化してしまつて、女で髭のあるものもありますほど、既に外見に於てさへ男子と異らないのであります。